

在宅復帰・病床機能連携率（一般病棟）

急性期一般入院料1を算定された患者様が在宅復帰または病床機能連携された割合を示しています。ここでは自宅だけでなく、介護老人保健施設、居住系介護施設等（介護医療院を含める）に帰られた場合、在宅復帰されたことになります。また、他院の地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟・療養病棟、有床診療所へ直接退院された場合に病床機能連携したということになります。（死亡退院、自院の転棟、7日以内に再入院された方は分子分母から除外）

【当院の活動】

退院支援部門の退院支援看護師と病棟担当の医療ソーシャルワーカーが、主治医、看護師、リハビリスタッフとのカンファレンスを行い、治療後安心して退院出来る様に、患者様・ご家族様の意向を伺い、転院先や自宅退院調整の支援を行っています。

対象病棟： 一般病棟

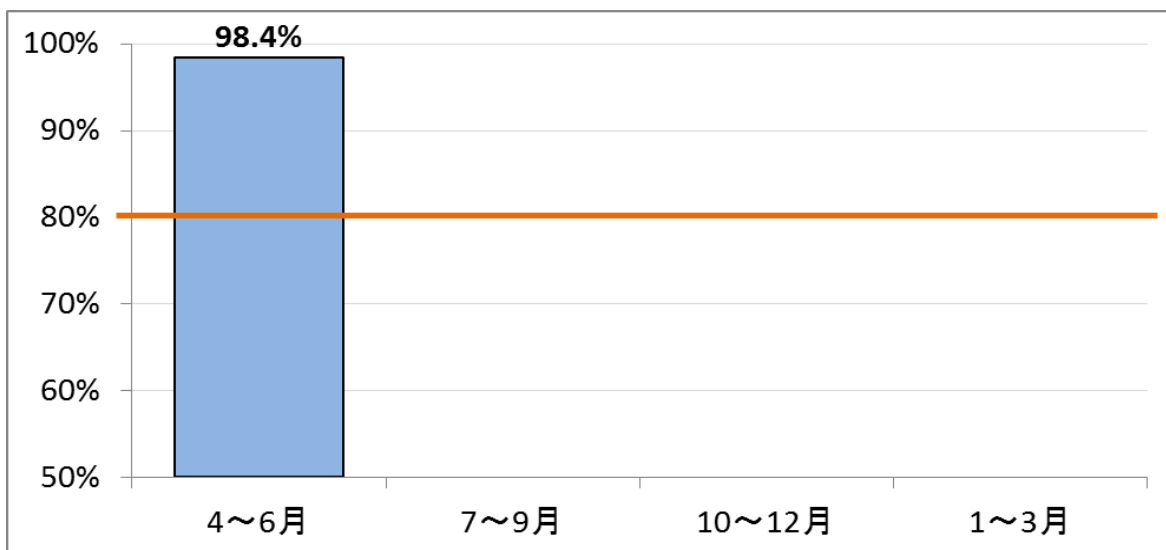
計算式：
$$\frac{\text{分子）退院先が「自宅等」の患者数}}{\text{分母）一般病棟からの退院患者数}}$$

※7対1入院基本料における在宅復帰率要件は80%

対象期間： 3ヵ月

データ件数：

	2023年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
分子	665			
分母	676			
復帰率(%)	98.4%			



●年度別比較

データ件数:

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
分子	2,773	3,340	2,829	2,954	2,840	2,938	2,477	2,679	2,867
分母	3,026	3,622	2,983	3,100	2,920	3,031	2,552	2,771	2,931
復帰率(%)	91.6%	92.2%	94.8%	95.3%	97.3%	96.9%	97.1%	96.7%	97.8%

